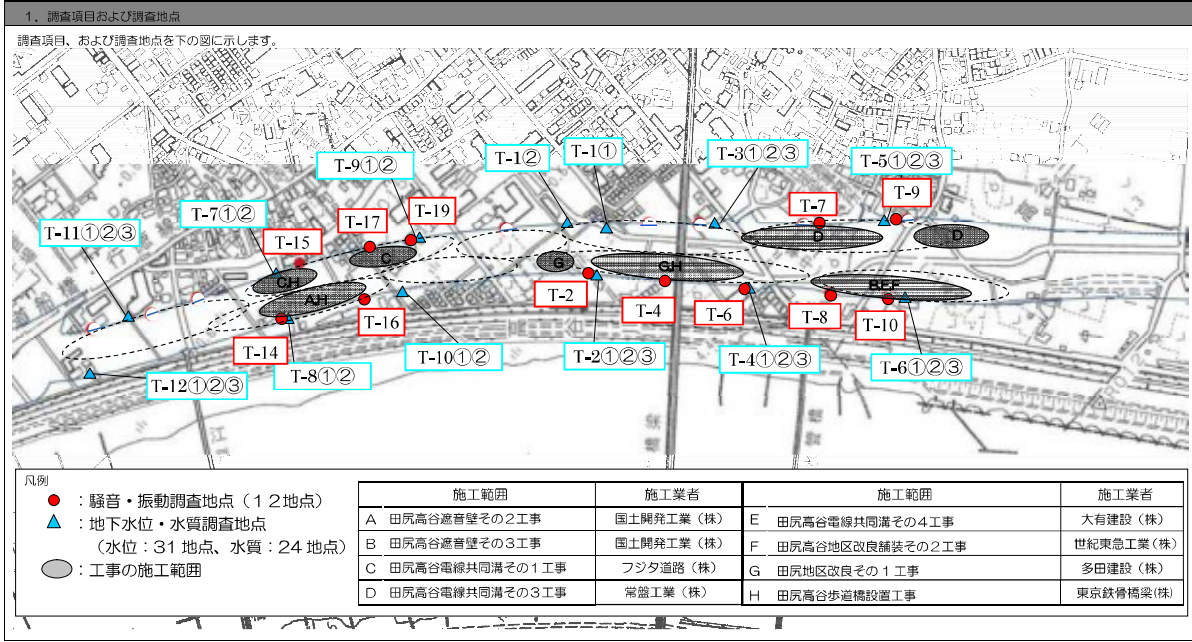


# 東西線周辺地区の 9 月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局  
首都国道事務所 調査設計課  
■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
国土交通省首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。  
そのうち、9月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。



### 2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル<sub>LAeq</sub> および振動レベル<sub>L10</sub>の調査結果を下の表に示します。  
○ 法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点      | 付近の工事内容   | 騒音レベル <sub>LAeq</sub> (dB) | 振動レベル <sub>L10</sub> (dB) | 調査日   |
|-----------|---|----------------------------|---------------------------|-------|
| T-15      | G 田尻高谷電線共同溝その1工事<br>H 田尻高谷歩道橋設置工事                       | 67dB                       | 40dB                      | 9月28日 |
| T-14      | A 田尻高谷遮音壁その2工事<br>H 田尻高谷歩道橋設置工事                         | 72dB                       | 52dB                      | 9月9日  |
| T-16      | A 田尻高谷遮音壁その2工事<br>H 田尻高谷歩道橋設置工事                         | 66dB                       | 42dB                      |       |
| T-17      | C 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 66dB                       | 40dB                      | 9月26日 |
| T-19      | C 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 69dB                       | 39dB                      |       |
| T-2       | G 田尻地区改良その1工事<br>H 田尻高谷歩道橋設置工事                          | 71dB                       | 47dB                      | 9月21日 |
| T-4       | G 田尻地区改良その1工事<br>H 田尻高谷歩道橋設置工事                          | 77dB                       | 45dB                      |       |
| T-6       | G 田尻地区改良その1工事<br>H 田尻高谷歩道橋設置工事                          | 65dB                       | 42dB                      |       |
| T-8       | B 田尻高谷遮音壁その3工事<br>E 田尻高谷電線共同溝その4工事<br>F 田尻高谷地区改良舗装その2工事 | 64dB                       | 46dB                      | 9月9日  |
| T-10      | B 田尻高谷遮音壁その3工事<br>E 田尻高谷電線共同溝その4工事<br>F 田尻高谷地区改良舗装その2工事 | 59dB                       | 46dB                      |       |
| T-7       | D 田尻高谷電線共同溝その3工事  | 65dB                       | 39dB                      | 9月21日 |
| T-9       | D 田尻高谷電線共同溝その3工事  | 61dB                       | 38dB                      |       |
| 法律による規制基準 |   | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準  | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 |       |

**解説**

- 騒音レベル<sub>LAeq</sub> : 騒音の大きさを音圧レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を<sub>LAeq</sub>と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。
- 振動レベル<sub>L10</sub> : 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を<sub>L10</sub>と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。

### 3. 地下水調査結果 (調査日: 9月16日)

地下水質の調査結果を下の表に示します。  
毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。  
○ pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点        | T-1(1) | T-1(2) | T-2(1)  | T-2(2)  | T-3(1)  | T-3(2)  | T-4(1)  | T-4(2)  |
|-------------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| pH          | 7.1    | 7.4    | 7.1     | 8.2     | 7.9     | 7.9     | 7.5     | 7.6     |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  |
| 測定地点        | T-5(1) | T-5(2) | T-6(1)  | T-6(2)  | T-7(1)  | T-7(2)  | T-8(1)  | T-8(2)  |
| pH          | 7.0    | 7.7    | 7.3     | 7.7     | 7.7     | 7.9     | 7.2     | 7.5     |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  |
| 測定地点        | T-9(1) | T-9(2) | T-10(1) | T-10(2) | T-11(1) | T-11(2) | T-12(1) | T-12(2) |
| pH          | 7.4    | 7.4    | 7.3     | 7.6     | 7.4     | 7.6     | 7.7     | 7.1     |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  |

**備考**: ①は地表から5m程度、②は地表から35m程度の層を対象としています。

**解説**

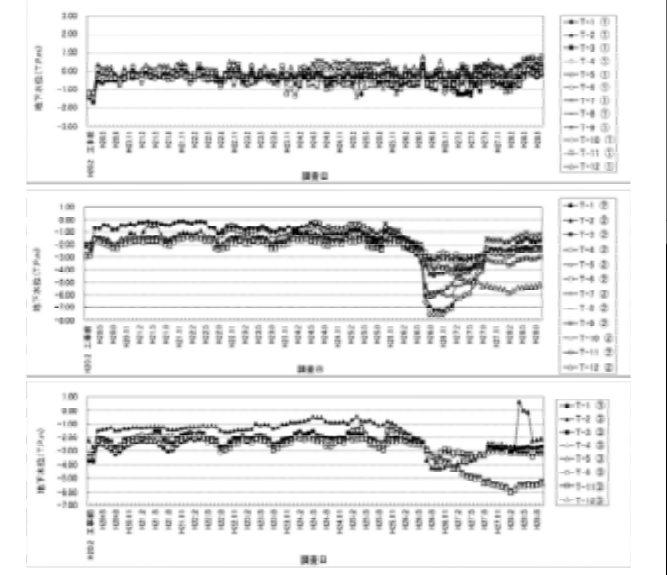
- 測定項目について
  - pH (水素イオン濃度): 地盤改良等に使用するセメント系薬劑は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に近くおそれるため監視・測定しています。pHについては地下水における規制基準は定められていません。
  - 六価クロム: 地盤改良等に使用するセメント系薬劑は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における規制基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当該場所において六価クロムを定量的に検出未済であることを意味しています。

### 4. 地下水水位調査結果 (調査日: 9月15日)

地下水水位の調査結果を下の表に示します。  
○ 地下水水位の低下及び上昇が一部で確認されました。引き続き注視していきます。測定結果の単位はT.P.m

| 調査月 | T-1(1) | T-1(2) | T-2(1)  | T-2(2)  | T-3(1)  | T-3(2)  | T-4(1)  | T-4(2)  | T-4(3)  |         |       |
|-----|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 7月  | 0.06   | -1.79  | 0.14    | -2.36   | -2.29   | -0.18   | -2.32   | -2.80   | -0.21   | -2.55   | -3.27 |
| 8月  | -0.02  | -1.82  | -0.04   | -2.25   | -2.24   | -0.35   | -2.23   | -2.79   | -0.30   | -2.42   | -3.12 |
| 9月  | 0.11   | -1.74  | 0.12    | -2.23   | -2.17   | -0.19   | -2.22   | -2.70   | -0.16   | -2.41   | -3.10 |
| 調査月 | T-5(1) | T-5(2) | T-5(3)  | T-6(1)  | T-6(2)  | T-6(3)  | T-7(1)  | T-7(2)  | T-8(1)  | T-8(2)  |       |
| 7月  | 0.43   | -2.40  | -3.27   | 0.39    | -2.54   | -3.49   | 0.22    | -2.50   | -0.28   | -1.67   |       |
| 8月  | 0.32   | -2.29  | -3.19   | 0.16    | -2.36   | -3.26   | 0.08    | -2.50   | -0.41   | -1.76   |       |
| 9月  | 0.49   | -2.30  | -3.13   | 0.20    | -2.42   | -3.27   | 0.22    | -2.43   | -0.28   | -1.70   |       |
| 調査月 | T-9(1) | T-9(2) | T-10(1) | T-10(2) | T-11(1) | T-11(2) | T-11(3) | T-12(1) | T-12(2) | T-12(3) |       |
| 7月  | 0.53   | -1.33  | -0.02   | -1.48   | 0.75    | -3.18   | -5.44   | -0.08   | -5.36   | -5.48   |       |
| 8月  | 0.42   | -1.33  | -0.19   | -1.54   | 0.62    | -3.15   | -5.36   | -0.16   | -5.32   | -5.42   |       |
| 9月  | 0.51   | -1.26  | 0.13    | -1.48   | 0.79    | -3.00   | -5.27   | -0.08   | -5.22   | -5.34   |       |

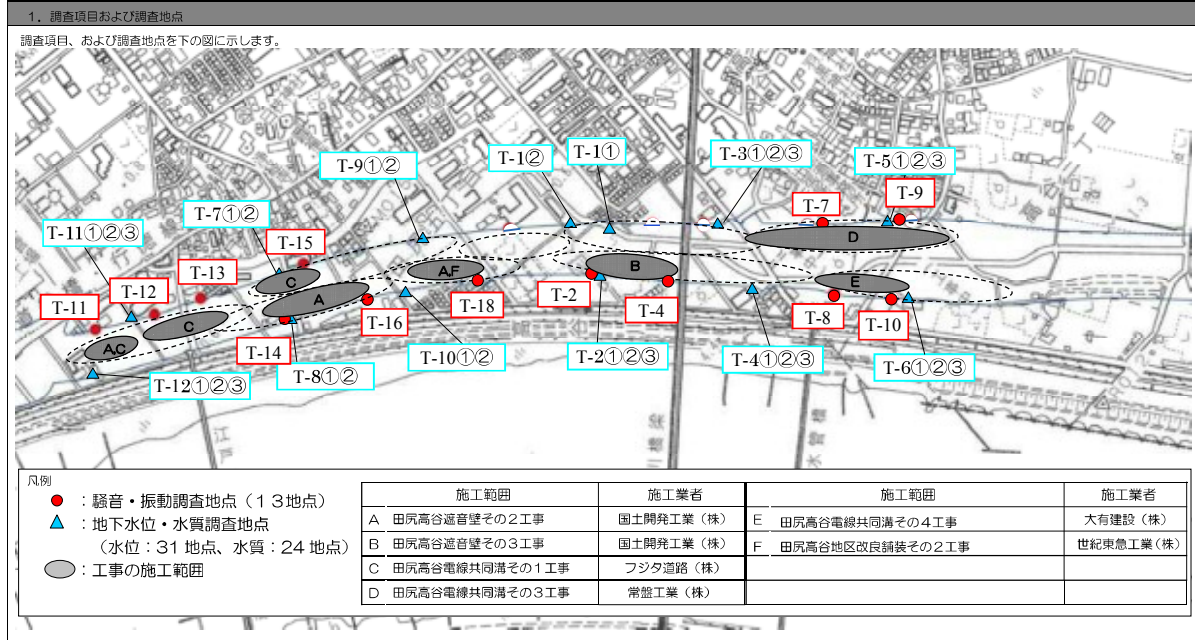
備考: ①は地表から5m程度、②は地表から35m程度、③は地表から45m程度の層を対象としています。



# 東西線周辺地区の10月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局  
 首都国道事務所 調査設計課  
 ■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 国土交通省首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組みのために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。  
 そのうち、10月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。



### 2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル<sub>LAeq</sub> および振動レベル<sub>L10</sub>の調査結果を下の表に示します。  
 ○ 法律による規制基準を測定しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容                            | 騒音レベル <sub>LAeq</sub> (dB) | 振動レベル <sub>L10</sub> (dB) | 調査日    |
|------|------------------------------------|----------------------------|---------------------------|--------|
| T-11 | A 田尻高谷音壁その2工事<br>C 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 61dB                       | 44dB                      | 10月13日 |
| T-12 | C 田尻高谷電線共同溝その1工事                   | 64dB                       | 42dB                      | 10月18日 |
| T-13 | C 田尻高谷電線共同溝その1工事                   | 63dB                       | 42dB                      |        |
| T-15 | C 田尻高谷電線共同溝その1工事                   | 65dB                       | 41dB                      | 10月20日 |
| T-14 | A 田尻高谷音壁その2工事                      | 71dB                       | 48dB                      | 10月4日  |
| T-16 | C 田尻高谷電線共同溝その1工事                   | 64dB                       | 40dB                      |        |
| T-18 | A 田尻高谷音壁その2工事<br>F 田尻高谷地区改良舗装その2工事 | 62dB                       | 43dB                      | 10月25日 |
| T-2  | B 田尻高谷音壁その3工事                      | 69dB                       | 43dB                      | 10月21日 |
| T-4  | B 田尻高谷音壁その3工事                      | 78dB                       | 50dB                      |        |
| T-8  | E 田尻高谷電線共同溝その4工事                   | 66dB                       | 42dB                      | 10月6日  |
| T-10 | D 田尻高谷電線共同溝その3工事                   | 66dB                       | 46dB                      |        |
| T-7  | D 田尻高谷電線共同溝その3工事                   | 69dB                       | 44dB                      | 10月12日 |
| T-9  | D 田尻高谷電線共同溝その3工事                   | 64dB                       | 41dB                      |        |

法律による規制基準

| 測定項目                  | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準  | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準  |
|-----------------------|--|--|
| 騒音レベル <sub>LAeq</sub> | 軽重の大きさによる騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を <sub>LAeq</sub> と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。 | 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を <sub>L10</sub> と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。 |

### 3. 地下水質調査結果（調査日：10月21日）

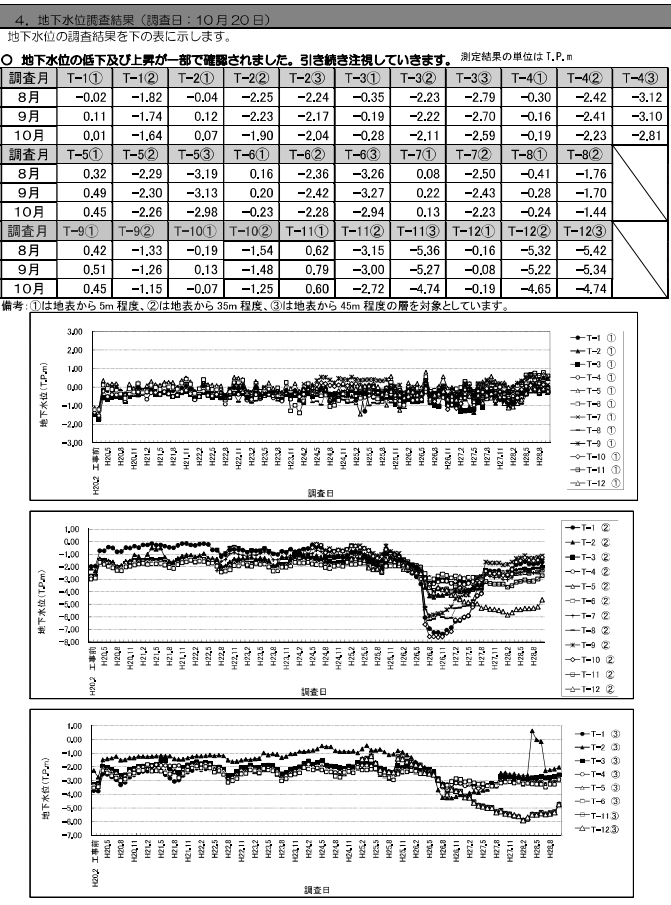
地下水質の調査結果を下の表に示します。  
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。  
 ○ pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点        | T-1①   | T-1②   | T-2①   | T-2②   | T-3①   | T-3②   | T-4①   | T-4②   |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| pH          | 7.4    | 7.6    | 7.2    | 8.3    | 7.5    | 7.7    | 7.7    | 7.8    |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地点        | T-5①   | T-5②   | T-6①   | T-6②   | T-7①   | T-7②   | T-8①   | T-8②   |
| pH          | 7.2    | 7.7    | 7.5    | 7.8    | 7.8    | 8.1    | 7.3    | 7.6    |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 測定地点        | T-9①   | T-9②   | T-10①  | T-10②  | T-11①  | T-11②  | T-12①  | T-12②  |
| pH          | 7.6    | 7.6    | 7.4    | 7.5    | 7.6    | 7.7    | 7.9    | 7.4    |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |

備考：①は地表から5m程度、②は地表から35m程度の層を対象としています。

解説

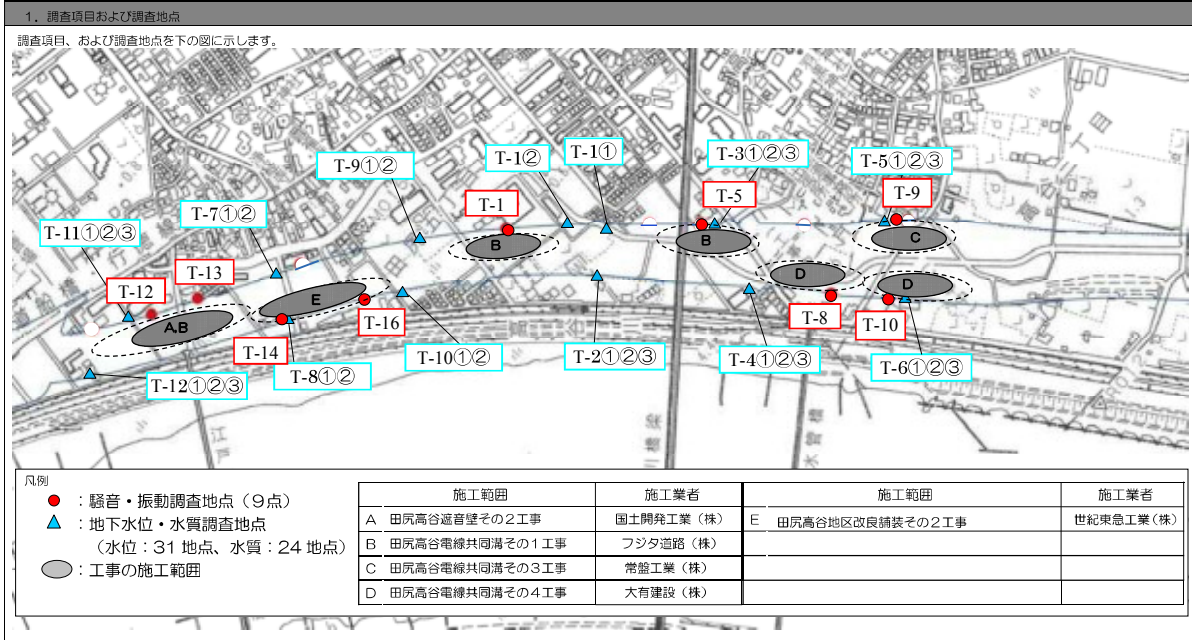
- 測定項目について
  - pH（水素イオン濃度）：地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に偏りおそれがあるため監視・測定しています。pHについては地下水における環境基準は定められていません。
  - 六価クロム：地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当該調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを意味しています。



# 東西線周辺地区の11月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局  
首都国道事務所 調査設計課  
■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
国土交通省首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組みするために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。  
そのうち、11月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。



### 2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル<sub>LA</sub> および振動レベル<sub>L<sub>10</sub></sub>の調査結果を下の表に示します。

○ 法律による規制基準を測定しています。

| 調査地点      | 付近の工事内容           | 騒音レベル <sub>LA</sub> (dB) | 振動レベル <sub>L<sub>10</sub></sub> (dB) | 調査日             |
|-----------|-------------------|--------------------------|--------------------------------------|-----------------|
| T-12      | B 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 65dB                     | 41dB                                 | 11月21日          |
| T-13      | B 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 61dB                     | 39dB                                 | 11月21日          |
| T-12 (夜間) | A 田尻高谷通音壁その2工事    | 60dB                     | 37dB                                 | 11月7日<br>~11月8日 |
| T-14      | E 田尻高谷地区改良舗装その2工事 | 70dB                     | 46dB                                 | 11月28日          |
| T-16      | E 田尻高谷地区改良舗装その2工事 | 64dB                     | 42dB                                 | 11月28日          |
| T-1       | B 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 67dB                     | 37dB                                 | 11月2日           |
| T-5       | B 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 70dB                     | 42dB                                 | 11月14日          |
| T-8       | D 田尻高谷電線共同溝その4工事  | 63dB                     | 41dB                                 | 11月22日          |
| T-10      | D 田尻高谷電線共同溝その4工事  | 64dB                     | 46dB                                 | 11月2日           |
| T-9       | C 田尻高谷電線共同溝その3工事  | 58dB                     | 37dB                                 | 11月16日          |

**法律による規制基準**

| 項目 | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準            |
|----|---------------------------|--------------------------------------|
| 騒音 | 騒音レベル <sub>LA</sub> (dB)  | 振動レベル <sub>L<sub>10</sub></sub> (dB) |

**解説**

- 騒音レベル<sub>LA</sub> : 騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を<sub>LA</sub>と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。
- 振動レベル<sub>L<sub>10</sub></sub> : 振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を<sub>L<sub>10</sub></sub>と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。

### 4. 地下水位調査結果 (調査日: 11月11日)

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○ 地下水位の低下及び上昇が一部で確認されました。引き続き注視していきます。測定結果の単位はT.P.m

| 調査月 | T-1①  | T-1②  | T-2①  | T-2②  | T-2③  | T-3①  | T-3②  | T-3③  | T-4①  | T-4②  | T-4③  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 9月  | 0.11  | -1.74 | 0.12  | -2.23 | -2.17 | -0.19 | -2.22 | -2.70 | -0.16 | -2.41 | -3.10 |
| 10月 | 0.01  | -1.64 | 0.07  | -1.90 | -2.04 | -0.28 | -2.11 | -2.59 | -0.19 | -2.23 | -2.81 |
| 11月 | -0.15 | -1.74 | -0.15 | -2.15 | -2.09 | -0.39 | -2.17 | -2.62 | -0.38 | -2.37 | -2.98 |

**備考**: ①は地表から5m程度、②は地表から35m程度、③は地表から45m程度の層を対象としています。

### 3. 地下水質調査結果 (調査日: 11月10日)

地下水質の調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○ pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点        | T-1①   | T-1②   | T-2①   | T-2②   | T-3①   | T-3②   | T-4①   | T-4②   |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| pH          | 6.5    | 6.8    | 6.8    | 7.8    | 7.2    | 7.9    | 7.0    | 7.3    |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |

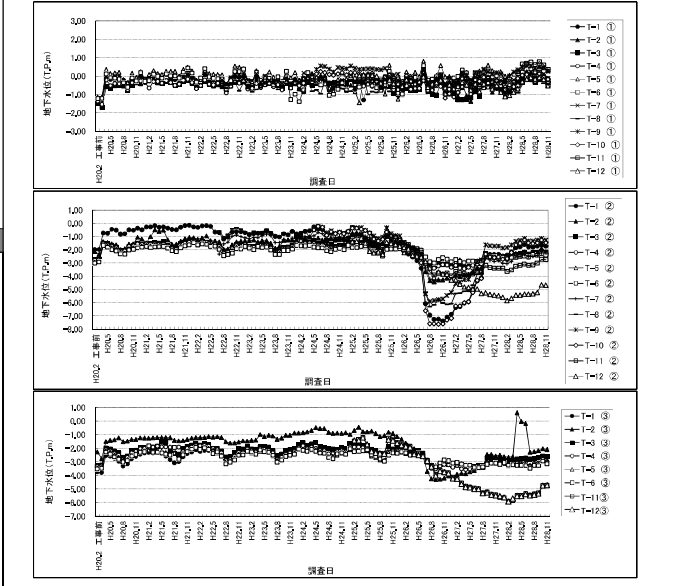
| 測定地点        | T-5①   | T-5②   | T-6①   | T-6②   | T-7①   | T-7②   | T-8①   | T-8②   |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| pH          | 6.5    | 7.1    | 6.8    | 7.3    | 7.0    | 7.6    | 6.9    | 7.3    |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |

| 測定地点        | T-9①   | T-9②   | T-10①  | T-10②  | T-11①  | T-11②  | T-12①  | T-12②  |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| pH          | 7.0    | 7.1    | 6.9    | 7.2    | 7.1    | 7.3    | 7.4    | 7.0    |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |

**備考**: ①は地表から5m程度、②は地表から35m程度の層を対象としています。

**解説**

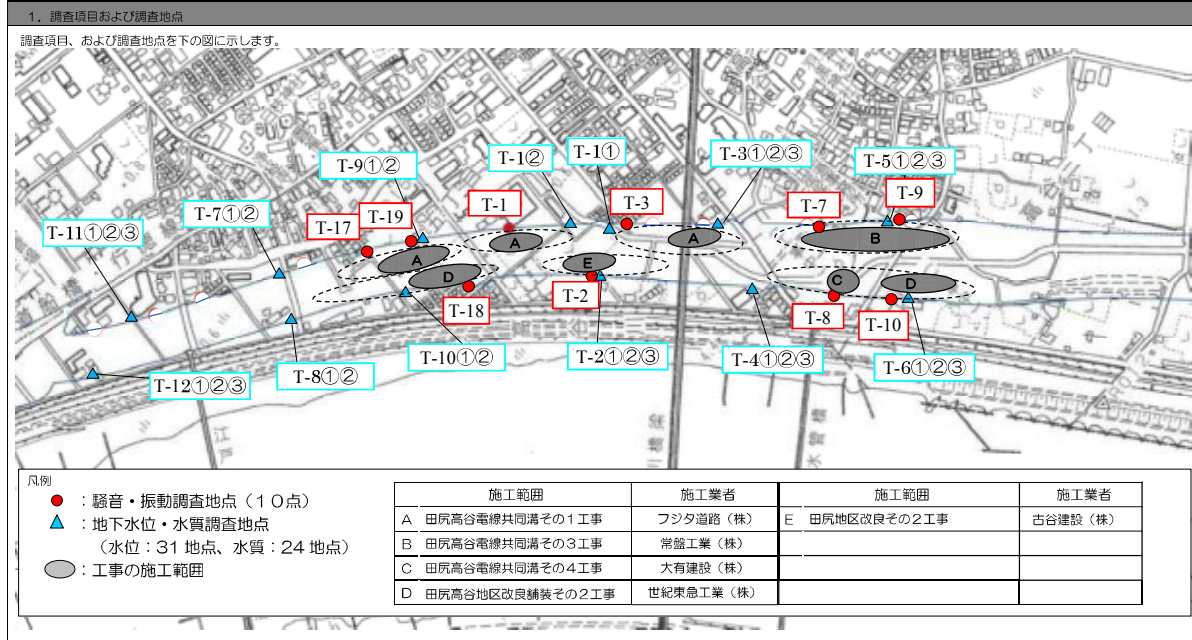
- 測定項目について
  - pH (水素イオン濃度): 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に大きくおそれるため監視・測定しています。pHについては地下水における規制基準は定められていません。
  - 六価クロム: 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における規制基準は0.05mg/l以下とされています。「0.005未満」とは当該調査において六価クロムを定量できる範囲未満であることを示しています。



# 東西線周辺地区の12月の調査結果のお知らせ

■担当窓口：国土交通省関東地方整備局  
首都国道事務所 調査設計課  
■電話番号：047-362-4115

平素は、国土交通省の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
国土交通省首都国道事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動等についての調査を毎月実施しております。  
そのうち、12月に実施しました調査結果についてお知らせ致します。



### 2. 騒音・振動調査結果

騒音レベル<sub>LAeq</sub> および振動レベル<sub>L10</sub>の調査結果を下の表に示します。

○ 法律による規制基準を満足しています。

| 調査地点 | 付近の工事内容           | 騒音レベル <sub>LAeq</sub> (dB) | 振動レベル <sub>L10</sub> (dB) | 調査日    |
|------|-------------------|----------------------------|---------------------------|--------|
| T-18 | D 田尻高谷地区改良舗装その2工事 | 64dB                       | 36dB                      | 12月6日  |
| T-17 | A 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 66dB                       | 36dB                      | 12月13日 |
| T-19 |                   | 69dB                       | 36dB                      |        |
| T-1  | A 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 68dB                       | 40dB                      | 12月5日  |
| T-2  | E 田尻地区改良その2工事     | 73dB                       | 47dB                      | 12月5日  |
| T-3  | A 田尻高谷電線共同溝その1工事  | 65dB                       | 41dB                      | 12月20日 |
| T-8  | C 田尻高谷電線共同溝その4工事  | 62dB                       | 42dB                      | 12月12日 |
| T-10 | D 田尻高谷地区改良舗装その2工事 | 66dB                       | 47dB                      |        |
| T-7  | B 田尻高谷電線共同溝その3工事  | 66dB                       | 38dB                      | 12月15日 |
| T-9  | B 田尻高谷電線共同溝その3工事  | 62dB                       | 39dB                      |        |

法律による規制基準

| 規制基準 | 特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準   | 特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準  |
|------|---|--|
| 騒音   | 騒音レベル <sub>LAeq</sub> 騒音の大きさを騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を <sub>LAeq</sub> と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準値と比較する値です。 | 振動レベル <sub>L10</sub> 振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を <sub>L10</sub> と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準値と比較する値です。 |

### 3. 地下水調査結果（調査日：12月8日）

地下水質の調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○ pHおよび六価クロムに異常はありませんでした。

| 測定地点        | T-1(1) | T-1(2) | T-2(1) | T-2(2) | T-3(1) | T-3(2) | T-4(1) | T-4(2) |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| pH          | 7.0    | 7.1    | 7.3    | 8.0    | 7.4    | 7.6    | 7.6    | 7.7    |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |

| 測定地点        | T-5(1) | T-5(2) | T-6(1) | T-6(2) | T-7(1) | T-7(2) | T-8(1) | T-8(2) |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| pH          | 7.4    | 7.6    | 7.2    | 7.6    | 7.5    | 8.0    | 7.2    | 7.4    |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |

| 測定地点        | T-9(1) | T-9(2) | T-10(1) | T-10(2) | T-11(1) | T-11(2) | T-12(1) | T-12(2) |
|-------------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| pH          | 7.3    | 7.3    | 7.3     | 7.4     | 7.4     | 7.5     | 7.6     | 7.3     |
| 六価クロム(mg/l) | <0.005 | <0.005 | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  | <0.005  |

備考：①は地表から5m程度、②は地表から35m程度の層を対象としています。

解説

- 測定項目について
  - pH（水素イオン濃度）：地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に偏り、それがあるため監視・測定しています。pHについては地下水における規制基準は定められていません。
  - 六価クロム：地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから監視・測定しています。六価クロムの地下水における規制基準は0.05mg/l以下とされています。（「0.005未満」とは当該地点において六価クロムを定量できる範囲未満であることを示しています。）

